

「家庭教育支援交流モデル事業(ほのぼのサロン)」

日時:平成28年4月22日(金)～平成29年1月24日(金) 会場:青森県総合社会教育センター

家庭教育支援交流モデル事業は、家庭に関する情報交換や悩み相談等をおして相互に学び合うことを目的として、日常的な親同士のつながりや子育ての先輩たちとの交流ができる仕組みづくりを行う事業です。今年度、実施した家庭教育支援者による子育て中の親子への交流活動の場「ほのぼのサロン」と「平内町子育てサロン」の様子を紹介します。

1 ほのぼのサロンの運営と感想

毎月1回金曜日の午前10時～12時に、主に乳幼児を持つ親を対象に実施しました。今年度は「交流の場作り」に重きをおいて実施し、延べ67組の親子が参加しました。

サロン運営 保護者にとって気分転換の場

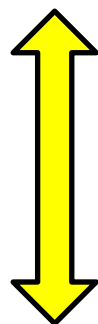


飽きさせないプログラムの工夫



支援員による子育てアドバイス

	主なテーマ
1	「おしゃべりタイム」
2	「親子で手あそびをしよう」
3	「先輩ママと後輩ママとの座談会」
4	「みんなで楽しく遊ぼう」
5	「ハロウィン～カボチャのお菓子バックを作ろう～」
6	「ミニツリーを作ろう」



利用している保護者の感想

- 支援員の方のお話、子育てアドバイスが非常に為になりました。なかなか母世代の方と交わることがなかったので子どものためにもなります。
- 歌や手遊びも出来て、たくさん遊ばせられたし、たくさんのお友達がいたのでよかったです。
- いつも子どもと2人なので、いろんな子ども達やおもちゃと触れあえて、よかったです。

家庭教育支援者の感想

- ・年齢差、個人差が幅広い場なので、安心して遊んでいいんだという「子育ての楽しさ」をもっと感じていただけるような、言葉がけ、雰囲気づくりを次回に活かしたい。
- ・回を重ねるごとに、親しみが増し、身内のような感覚になった。これからは、お母さん達の話に耳を傾けつつ、一人ひとりの子ども達と関わっていきたいと思う。
- ・何度も通ってきているお子さんの成長ぶりが感じられ、それと共に子育ての悩みも違ってきているのを聞いて共感がありました。



支援者打合せ・振り返り

2 ほのぼのサロンについて

開催日時:毎月1回、午前10時～正午

会場:青森県総合社会教育センター ほのぼのルーム

対象:乳幼児から小学生までの子を持つ親や家族等(0歳～未就学児)

内容:おしゃべりタイム、親子で小物づくり、親子で季節の遊び、子育て相談など

その他:利用料無料、暖房完備、飲食可

